

Sonica Instruments KOTO 17 Virtuoso Japanese Series User's Manual

この度は Sonica Instruments Virtuoso Japanese Series KOTO17を お買い上げいただきまことにありがとうございます。 本物の日本の音を追求するこの製品を是非お楽しみください。 Sonica Instruments Team





## はじめに

#### 十七絃とは

+七弦は、合奏曲の中で低音域を担当する楽器として、1921(大正10)年に箏曲家である宮城道雄氏によって考案された楽器です。 伝統的な箏が13本の絃を持つのに対してその名の通り17本の絃を持っており、絃や爪も十三絃よりも太く、厚いものが用いられて います。七音音階に調弦されることが多いですが、十三絃箏と同様に柱の位置によって自由に調弦することができます。 合奏曲の低音を担う伴奏楽器としてだけでなく、現代では独奏曲も数多く演奏される多大な可能性を秘めた楽器です。

#### Virtuoso Japanese Series

### KOTO 17 について

この製品は十七絃のリアルな再現を目標に開発されました。

ー流の演奏家による素晴らしい演奏を、細心の注意を払ってレコーディング。Kontakt プログラミングによって、箏ならではの振る 舞いや演奏表現を再現し、まるで目の前で演奏されている様な説得力のあるサウンドを生み出すソフトウェア音源として作り上げまし た。実際の邦楽合奏のように Virtuoso Japanese Series KOTO13(13 絃箏)や KOTO 20、SHAKUHACHI(尺八)と組み合わせ ることで、現代邦楽の合奏を再現することができます。

そしてなにより私達は本物の邦楽器と演奏者をリスペクトしています。この製品が、皆様が本物の十七弦や邦楽の魅力を知るきっかけ になれば幸いです。

### 製品の特長

17本の絃を白鍵に割り当てる独自の演奏モードにより、本物の箏同様のグリッサンド、箏フレーズが簡単に演奏可能(p.15) 箏は演奏する楽曲に応じて17本の弦の調弦を変えて演奏する楽器です。KOTO17は、十七絃箏の各弦を白鍵で演奏するスケール演 奏モードを採用することで、本物の箏と同様の演奏感を実現しました。

#### 十七絃箏ならではの 20 種類のアーティキュレーションを収録(p.7)

箏の持つ多彩な表現を再現するため、20 種類にも及ぶアーティキュレーションを収録。親指、人差し指、中指による弾き分けや、グリッ サンドやトレモロ、弦を爪で擦るように鳴らす散らし爪など、各種奏法をキースイッチで自在に操ることができます。

#### 爪や弦によるサウンド変化を再現する、新開発のインストゥルメントモデラー機構 (p.11)

箏は使用する爪や弦の太さによって大きくサウンドが変化する楽器です。その特性を忠実に再現するため、新たに Instrument Modeler という機能を開発しました。

Instrument Modeler では、爪や弦の厚み(細め / 通常 / 太め)や発音の瞬間の音程やアタック要素、ノイズ成分といった各要素を 個別に調整することができます。これにより、自然な演奏感の表現はもちろんアグレッシブなアプローチまで、サウンド・キャラクター を自在に操ることが可能です。

#### 自然な連打表現を実現する、サスティンペダルコントロール(p.13)

連打時の自然なサウンド変化を再現するため、3 種類のオルタネイトピッキングを収録しています。オルタネイトピッキングはキース イッチ、もしくはサスティンペダルコントロール機能で切り替えることができます。

サスティンペダルコントロールが ON のとき、キーオンで通常のピッキング、キーオフでオルタネイト・ピッキングを交互に鳴らし 分けることができます。

#### プラッキングコントロール機能による、ナチュラルで繊細な爪弾き音(p.12)

各弦ごとの音量調整やファインチューニングに加え、爪が弦に触れてから弾かれて音が出るまでの挙動を自由に操ることができます。 これにより手に吸い付くかのようなナチュラルなプラッキング・コントロールが可能です。

#### 17本の弦を完全に独立して調律可能な String エディターとスケール機能(P.15)

スケールにはクロマチックを始め、使用頻度の高い 10 種類を用意。移調機能と組み合わせることで、多彩な楽曲に対応する他、楽曲 に合わせた専用のスケールを自由に設定できるユーザースケール・モードも備えています。 各弦ごとにファインチューニング、ボリューム、パンを細かく設定することもできます。

#### 3種類のフレーズバンクに、箏ならではのフレーズを多数収録(P.8)

グリッサンドやスリ爪といった箏ならではの奏法から、柱の外側を引くエフェクト効果まで再現の難しい特殊奏法を、フレーズバンク として収録。キースイッチでフレーズバンクを切り替え、MIDIキーボードからフレーズをトリガーすることができます。

#### 高精細な 24bit、96kHz のマルチマイク収録(P.9)

レコーディングは 8 本以上の様々なマイクと色付けのないマイクアンプを使用。高精細な 24bit、96kHz のサンプリングフォーマットで録音、そのままダウンコンバートすることなくプログラミングしました。製品では Direct Mic、Overhead Mic、Room Mic、Stereo Mix の使いやすい 4 種類のマイキングでミキシングが可能です。

#### NKS に対応(<u>P.18</u>)

NKS に対応し、Kontakt Player / Kontakt (ver. 5.7.3 以上) / KOMPLETE KONTROL 上で使用することができます。KOMPLETE KONTROL キーボードなど NKS 対応ハードウェアとの連携時には、音色を素早くプレビューしたり、ハードウェアのノブやコントロー ラーをフル活用することができます。

## 製品仕様

Native Instruments KONTAKT 5.7.3 以上 KONTAKT PLAYER 対応 NKS 対応

#### 動作環境

Mac OSX 10.10 以降 Windows 7, 8, 10 Intel Core 2 Duo または AMD Athlon 64 X2 Mac、Windows ともに 4GB RAM(16GB 推奨)

サンプリングフォーマット: 24bit / 96kHz データ容量:NCW 約 29 GB 相当(WAV 約 57 GB 相当)

・このライブラリーをお使いになるためには、Native Instruments KONTAKT 又は KONTAKT PLAYER 5.7.3 以上が必要になります。

・製品のインストールには 29 GB 以上のディスク空き容量が必要です。

- ・PC 環境、動作環境は Native Instruments KONTAKT 及び KONTAKT PLAYER の推奨動作環境に準じます。
- ・ライブラリーを快適に動作させるためには、より高速な CPU と、余裕のある RAM メモリーを搭載したコンピュータに製品をイン ストールすることをお奨めします。

※ご使用時にインターネットを経由したユーザー登録が必要になります。



# 製品をお使いいただくにあたって

本製品をお使い頂くには NATIVE ACCESS アプリケーションで「**シリアルコードの登録**」と「**ライブラリデータのダウンロード**」を 行う必要があります。なおインストール作業の詳細な操作や最新の情報は <u>Sonica Instruments のウェブサイト</u>でご確認ください。

### 1.NATIVE ACCESS のインストール

※ NATIVE ACCESS をすでにお使いの方は、この操作は不要です。

Native Instruments 社の WEB サイト(<u>https://www.native-instruments.com/jp/specials/native-access/</u>) よりお使いのパソコ ン OS に合わせた「NATIVE ACCESS インストーラー」をダウンロードし、以下の手順でインストールを行ってください。



## <u>2.NATIVE ID でログイン</u>

インストールした NATIVE ACCESS を起動してログインします。

総合的行うことができます。 ・ 製品管理が統合化され、音楽制作により 集中することができます。

NATIVE INSTRUMENTS のアカウントをお持ちでない場合、画面内の「Create a Native Instruments account」をクリックし、ア カウント作成画面を開き、必要事項を入力してアカウントを作成(無料)してください。



## <u>3. シリアルコードの登録</u>

NATIVE ACCESS を起動し、画面左上にある「**Add a serial**」ボタンをクリックして表示されるウィンドウの赤枠内に、製品購入時 に発行されたシリアルコードを入力します(シリアルコードは、購入時にEメールでお送りしています)。

Native Access		
NATIVE ACCESS	Search Products QL	and the second se
🛛 Add a serial 🛛 🗲	<ul> <li>Notinstaled</li> </ul>	inter a
Sofware	NOT INSTALLED	
Not installed		ADD & TERMAL
Available updates	- 0	Pyortpachase are with a set of each works, even cheers make the approximation designability addes
installed products	4.P Akoustik Plano	
	CP Elektrik Plano	to experience was actually as a gase with the last of and and an allow

ADD SERIAL ボタンをクリックすると、製品のシリアルコードが登録されます。画面内に表示される「**VIEW PRODUCTS NOT INSTALLED**」ボタンをクリックし、インストール画面を開いてください。



Not Installed リストに登録した製品が追加されます。インストールしたい製品名の右側にある「**Install**」ボタンをクリックすると、 ダウンロードとインストールが開始されます。

NATIVE ACCESS	Search Products Q		0 ± 0
<ul> <li>Add a serial</li> <li>Software</li> <li>Not installed</li> </ul>	Not installed NOT INSTALLED		G INSTALL ALL
Available updates			
	Koto 17	1.0.0	D INSTALL
	Koto 20	1.0.0	D INSTALL
	Sanahin	1.0.0	Q INSTALL

以上でライブラリのインストールは完了です。

ダウンロードの完了後に KONTAKT / KONTAKT PLAYER を起動すると、画面左側の Libraries タブに自動的に製品が追加されます。 同様に、KOMPLETE KONTROL でも使用することができます。





## 製品の基本概念

KOTO17 は KONTAKT および KONTAKT Player、KOMPLETE KONTROL ソフトウェアで使用することができます。

#### <u>KONTAKT および KONTAKT Player で使用する場合</u>

アクティベーションが完了すると、KONTAKT の Library Browser に KOTO 17 のライブラリパネルが追加されます。音色を読 み込んでお使いください。



#### <u>KOMPLETE KONTROL で使用する場合</u>

Contraction of the local data

本製品は NKS に対応しているため、KOMPLETE KONTROL や KOMPLETE KONTROL キーボードと連携し、音色をプレビュー したり、設定をプリセットとして保存する事も可能です。KOMPLETE KONTROL キーボードのノブコントローラーやブラウザ機能 と共に、快適にお使いいただけます。

詳しくは <u>P.18「KOMPLETE シリーズのコントローラーパラメータ」</u>をご覧ください。



1----



ž	👻 Sonica KO	DTO 17		• •	i ()	S 🔿 Tu	n#	×
S	40 Output: st.1 (3) MIDI Chi (A) 1		In Voices: 26	: Ман: 260 81.68	Purge •			au.
	articul	ation : Pi	cking Thur	nb		phrase	bank : Surizume	
				_			•	
		Direct	OH	Ro	om S	Stereo	Reverb	
3	vol		62		000	(P)	Noh Theater Stage 🐨	

ウインドウ上部にあるこの2つの表示は、mix・instrument・strings・memory ページ全てで常に表示され、 キースイッチで選択されている内容が常にモニターできるようになっています。

# articulation

現在選択されているアーティキュレーション (奏法) が表示されます。収録アーティキュレーションとキースイッチは下記の通りです。

Key Switch	Articulation Name	奏法名
BO	Sus.Pedal On / Off	ペダルモードの切替
CO	Picking Thumb	親指爪
C#0	Picking Index	人差指爪
DO	Picking Middle	中指爪
D#0	Pizzicato (L.Hand)	ピチカート 左手
EO	Pizzicato (R.Hand)	ピチカート 右手
FO	Sukuizume	スクイ爪
F#0	Chirashizume 1 (Fast)	散らし爪 速
GO	Chirashizume 2 (Medium)	散らし爪 中
G#0	Chirashizume 3 (Slow)	散らし爪 緩
AO	Oshiage (Bend Up)	押し上げ
A#0	Oshiage (Bend Down)	押し放し
BO	Oshiage-sage(Bend Up Down)	後押し~押し放し
C1	Tsuki-Iro	突き色
C#1	Yuri-Iro (Vibrato)	揺り色
DI	Tremolo 1	トレモロ
D#1	Tremolo 2 (Edge)	トレモロ (エッジ)
E1	Keshizume (Mute)	消し爪
F1	Alternate Picking 1	オルタネート 1
F#1	Alternate Picking 2	オルタネート 2
G1	Alternate Picking 3	オルタネート 3
G#1	Mute String	発音している絃の音を止める*

No.

\* 鍵盤を弾いているとき(ノートオン)のときは無効です。

Contraction of the second

# phrase bank

現在選択されているフレーズバンク(奏法)が表示されます。

Key Switch	Phrase Bank Name	奏法名	フレーズ数
C5	Surizume Effect	スリ爪フレーズ	10
C#5	Glissando Performance	グリッサンドフレーズ	8
D5	Effects	効果音	19

# MIDI キーボードのレイアウト

B-1:サスティンペダルモード切替
C0~D#1:アーティキュレーション Key Switch Zone
E1,G#1:消し爪(ミュート)
F1~G1:オルタネイトピッキング
C5~D5:フレーズバンク選択
F5~:フレーズバンク再生



1 × 1





mix

#### このページでは基本的な音作りを行います。



## Audio Mixer

**Direct、OH(OverHead)、Room** 3種類のステレオマイクポジションとマルチマイク音源をあらかじめバランスよくミックスされ た Stereo Mix をミキシングできます。マルチマイクのチャンネルが ON の時は "Stereo" は Off になり、逆に "Stereo" が On の時は マルチマイク・チャンネルは Off になります。

vol: 各チャンネルの音量をコントロールします。

width:ステレオマイキングの広がりを調整します。100% でオリジナルの広がりに、0% でモノラルになります。

pan: 各チャンネルの panpot を調整します。

rev: 各チャンネルのコンボリューション・リバーブへのセンド量を調整します。

out: 各チャンネルのオーディオ出力先を選択します。お使いの DAW ヘマルチ・チャンネルの状態で取り込む時に便利です。



#### ○各マイクのサウンドを、マルチアウトする

アウトプットを作成した後(※)、KONTAKT のインターフェース右上の「!」ボタンをクリッ クすると、SANSHIN の out メニューに作成したアウトプットが反映されます。

※アウトプットの作り方は、KONTAKT のマニュアルをご覧ください。





**EQ** : 各チャンネル 2 搭載された 4band Equalizer を調整します。左ボタン [E] をクリックすると Equalizer ウィンドウがポップアッ プされます。右のボタンで Equalizer の ON/OFF を行います。



# Reverb

能楽堂の IR( インパルスレスポンス )2 種を含む全 30 種類のコンボリューションリバーブを選択できます。



**size**: Reverb Time を調整します。 **return**: Reverb 成分の音量を調整します。

## MIDI CC# Learning 機能

すべてのコントロールノブは MIDI CC(Control Change)で個別にコントロールできます。

#### Learn MIDI CC# の設定方法



- 1.コントロールノブを右クリックし "Learn MIDI CC# Automation" を表示する 2.コントロールに使いたい MIDI コントローラーの操作子を動かす
- 3. 設定完了

#### MIDI CC# Automation のリムーブ

設定を削除するには、該当のコントロールノブを右クリックし "Remove MIDI Automation CC# xx"を選択してください。





instrument

このページでは十七絃の音色ニュアンスを設定します。



## Instrument Modeler

CARDINAL PARTY

1

箏のサウンドに大きな影響を与える「爪」と「弦」によるサウンド変化をモデリングします。これらのパラメーターを調整することで、 リアルで生々しい十七弦から、箏の枠に捕らわれないアグレッシブで先進的なサウンドまで、自在に作り上げることができます。



V NOW AND A DESCRIPTION



### Pick

3つのパラメーターで、サウンドのアタック成分をコントロールします。



**character**:弦を弾く爪の厚さを notmal (通常)、thick (太め)、thin (細め)の 3段階で切り替えます。

pitch:アタック成分の音程を調整します。ピッチを上げることでブライトでヌケ の良いサウンドに、下げると独特の深みを持ったキャラクターを作ることができま す。

impact: 爪が弦を弾いた瞬間に生じるインパクト成分をコントロールします。

## String

弦によるサウンド変化などをコントロールします。



tone:弦の太さを notmal (通常)、thick (太め)、thin (細め) の3段階で切り替えます。

noise: 各種ノイズの音量を調整します。

release:演奏中の弦に対してのリリースタイムを調整します。

p.bend:ピッチベンドのレンジ幅を0~5半音の範囲で調整しま す。

打弦している弦(ノート)だけをピッチベンドコントロールする仕 様により、演奏中他の弦の余韻に影響なくピッチペンドが可能です。 これによって押し手、引き色、突き色などの箏特有の表現を自由に 演奏可能です。

## **Plucking Control**

爪が弦に触れてから、弾かれて音が出るまでの挙動をコントロールします。「Sukizume」「Chirashizume1~3」では使用できません。



RANDOM PREROLL: ON にすると、キーオンごとに preroll がランダムに発音 します。

preroll: 爪が弦に触れてから弾かれるまでの最大時間を調整します。 random: RANDOM PREROLL の可変幅を調整します。RANDOM PREROLL が 有効なときのみ使用可能です。

# Velocity Control

ベロシティに対するサウンド変化をコントロールします。



- ・curve type : Velocity カーブを「Linear」「S-Curve」「Compound」 「Fixed」「User」から選択します。
- ・curve: 選択したカーブに変化をつけます。
- ・min: 発音する Velocity の最小値を設定します。
- max: 発音する Velocity の最大値を設定します。





# Articulation

特定のアーティキュレーションに作用します。本パラメーターは「Bend Up」「Bend Down」「Bend Up Down」「Tsuki-Iro」「Tremolo 1」「Tremolo2」選択時のみ動作します。



speed:アーティキュレーションの演奏スピードを 50%~ 200%の範囲で調整します。

# **Phrase Control**

Phrase Bank に収録されているフレーズのスピードとチューニングを調整します。



**pitch**: 再生ピッチを半音単位 ±7 範囲で調整します。 **speed**: 再生スピードを 50% ~ 200% の範囲で調整します。

# Sus. Pedal Control

ON にするとサスティンペダルを踏んでいる間、ノートオフでオルタネイトピッキングを発音します。 オルタネイトピッキングを使用することで自然な連打感を再現でき、トレモロ表現も可能です。なお、発音されるオルタネイトピッキ ングは、選択(演奏)中のアーティキュレーションによって切り替わります。



Sus. Pedal Control: サスティンペダル ON 時に、オルタネイトピッキングを発音するかを切り 替えます。なお、キースイッチ(B-1)でもコントロールが可能です。 OFF 時には通常のサスティンペダルとして動作します。

選択中のアーティキュレーション	発音されるオルタネイトピッキング
Picking Thumb	Picking Middle
Picking Index	Sukuizume
Picking Middle	Chirashizume 1 (Fast)

N.S.







Sus.Pedal Control が ON のときに CC#64 を ON にすると、ノートオフ時に演奏中のアーティキュレーションに対応 するオルタネイトピッキングを発音します。





# Strings

このページでは、箏の調子(スケール)を設定します。各絃ごとに音程とボリューム、パンを個別に設定することができます。

string	pitch	fine	vol	pan		
1	C1	0.00	0.0	center		Scale
2	D1	0.00	0.0	center		Ionian
3	E1	0.00	0.0	center		
4	F1	0.00	0.0	center		
5	G1	0.00	0.0	center		
6	A1	0.00	0.0	center		
7	B1	0.00	0.0	center	Tr	anspose
8	C2	0.00	0.0	center		
9	D2	0.00	0.0	center		C
10	E2	0.00	0.0	center		
11	F2	0.00	0.0	center		
12	G2	0.00	0.0	center		
13	A2	0.00	0.0	center		
14	82	0.00	0.0	center		
15	C3	0.00	0.0	center		
16	D3	0.00	0.0	center		
17	E3	0.00	0.0	center		
Son	NL al	<b>k</b> r.				

## **String Indicator**

第1弦から第17弦までの音程やボリューム、パンを絃ごとに表示します。任意のパラメーターを上下にドラッグすることで、各項目 を編集することができます。各弦のスロットは発音すると緑の和柄背景が点灯します。

string	pitch	fine	vol	pan
1	C1	0.00	0.0	center
2	D1	0.00	0.0	center
3	E1	0.00	0.0	center
4	F1	0.00	0.0	center
5	G1	0.00	0.0	center
6	A1	0.00	0.0	center
7	B1	0.00	0.0	center
8	C2	0.00	0.0	center
9	D2	0.00	0.0	center
10	E2	0.00	0.0	center
11	F2	0.00	0.0	center
12	62	0.00	0.0	center
13	A2	0.00	0.0	center
14	B2	0.00	0.0	center
15	C3	0.00	0.0	center
16	D3	0.00	0.0	center
17	E3	0.00	0.0	center

A Provent

pitch:各弦の音程を表示します。User Scale 選択時には音程を変更することができます。
 fine:各弦の音程を±50セントの範囲で微調整します。
 vol:各弦のボリュームを±6dBの範囲で設定します。

**pan** : 各弦のパンを ±100% の範囲で設定します。





# Scale

十七絃で主に使用されるスケールを瞬時に呼び出すことができます。また User Scale を作成することができるため、どのような楽曲 にも対応することができます。

	Scale	<b>Chromatic</b> : クロマチック・スケールを選択します。
Trans	Chromatic  User Scale Load User Scale Save User Scale	User Scale : 作成したオリジナルのスケールを選択します。 Load User Scale : 保存されたユーザー・スケールを読み込みます。 Save User Scale : カスタマイズしたユーザー・スケールを保存します。 Copy to User Scale : 選択されているスケールをユーザー・スケールとしてコピーします。
	Copy to User Scale	<b>Preset Scale</b> : 9 種類のプリセット・スケールを選択します。
	Natural minor Harmonic minor	■プリセット・スケール一覧 アイオニアン、ナチュラル·マイナー、ハーモニックマイナー、メロディックマイナー、ドリアン、
	Melodic minor Dorian Phrygian Lydian	フリジアン、リディアン、ミクソディリアン、ホールトーン
	Mixolydian Whole tone	

## Transpose

各スケールを移調することができます。



Transpose: -5~+6の範囲で移調します。なお、User Scale は移調することができません。

# memory

CALL STOCKER

このページでは、全アーティキュレーションと全フレーズバンクについて、サンプルの読み込みを個別に設定することができます。リ ストの Load ボタンをオフ(消灯)させることで、そのアーティキュレーションが無効になりメモリーサイズが軽減されます。 Load ボタンのないキースイッチおよびアーティキュレーションは、オンまたはオフ操作できません。

4	articulation : Oshiage	(Bend Up) p	ohrase bank : Surizume
6	LONG ARTICULATION	Lord ARTICULATION	PHRASE BANK
5	B-1 Pedal Mode On/Off	A0 Oshlage (Bend Up)	C5 Surizume Effects
····	- CO Picking Thumb	A#0 Oshiage (Bend Up Down)	C+5 Glissando Performance
MIL.	- cro Picking Index	BO Oshiage-sage (Bend Up Dow	n) D6 Effects
YE-	DO Picking Middle	C1 Tsuki-Iro	
	DFO Pizzicato (L. Hand)	Cri Yuri-Iro (Vibrato)	
	E0 Pizzicato (R. Hand)	DI Tremolo 1	Par 1
-	F0 Sukuizume1	D#1 Tremolo 2 (Edge)	
	Feo Chirashizume 1 (Fast)	E1 Keshizume (Mute)	2///
SV2	60 Chirashizume 2 (Medium)	F1 Alternate Picking 1	
	Gro Chirashizume 3 (Slow)	F#1 Alternate Picking 2	
and -	The second	G1 Alternate Picking 3	OTO 17
all.			
-	mix instrument	strings memory	



# KONTROL シリーズのコントローラーパラメーター

KOMPLETE KONTROL や KONTROL S シリーズ (MIDI キーボード ) では、より直感的にコントローラーパラメーターを調整可能で す ( 各パラメーターについては、前述の項目をご参照ください )。

KOMPLETE KONTROL ではコントロールボタンをクリックすると、パラメーターが表示されます。



#### <u>Inst</u>

Instrument Modeler (P.11) のパラメーターをコントロールします。各パラメーターの詳細は、該当ページをご覧ください。







### Mixer Mic / Mixer Vol

Audio Mixer (<u>P.9</u>) のパラメーターをコントロールします。使用するマイクチャンネルの選択と、チャン ネルの音量を調整します。



## Mixer Pan / Mixer Width

Audio Mixer (P.9) のパラメーターをコントロールします。各チャンネルの pan と width を調整します。



#### <u>Reverb</u>

各チャンネルからリバーブへのセンド量と、Reverb(P.10)のパラメーターコントロールします。



### EQ Editor

EQ (<u>P.10</u>) のパラメーターをコントロールします。" ~ Edit" で各チャンネルの EQ ウィンドウがポップアップし、" ~ EQ" で EQ の ON/OFF が行えます。



### EQ Param

EQ(P.10)の各バンドのゲインと中心周波数をコントロールします。





# Credits

Executive Producer: Tomohiro Harada Production, Kontakt Development and Recording :Sonica Instruments Instrument Played by Miki Maruta GUI Designer: Yujin Ono Kontakt Programming: Ichigoichie AB Marketing & Translation: Craig Leonard Photography : Kenji Kagawa Music Video : Yoshitaka Koayama Audio Editing & Kontakt Mapping : Hiromi Toriyama User's Manual : Yuhei Suzuki

Copyright 2021 © Sonica Inc. All rights reserved. Sonica Instruments www.sonica.jp/instruments/



この書類に記載の情報の著作権は株式会社ソニカ (Sonica Inc.) に帰属します。 複製、公衆送信、改変、切除、ウェブサイトへの転載等の行為は著作権法により禁止されています。 また、この書類の情報は、予告なく変更または削除する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

All copyrights and various intellectual property rights associated with the information contained in this document are owned and controlled by Sonica Inc. Copyrights and various intellectual property rights laws expressly prohibit the reproduction, public distribution, alteration, revision, or publication of this document on any other Web site or in other medium.

The information contained in this document is subject to change or deletion without prior notice.

